

# 「区立施設の再編を考える」

このリーフレットは、平成29年7月1日から平成30年3月1日までの期間中、広報紙「広報すぎなみ」の毎月1日号で連載をしてきた、「区立施設再編整備計画」の目的や進め方などを分かりやすくお伝えするコラムの内容を転載したものです。広報紙の紙面の都合上割愛した図やグラフなどを追加し、より分かりやすくまとめました。



## 【掲載記事一覧】

- 第1回（7月1日号） 『シセツサイヘン』ってなあに？
- 第2回（8月1日号） 『シセツサイヘン』と人口の関係
- 第3回（9月1日号） 区立施設にかかるお金と『シセツサイヘン』
- 第4回（10月1日号） 『シセツ』に関するアンケートを実施しました
- 第5回（11月1日号） 『シセツサイヘン』の取り組みの基本方針について①  
～複合化・多機能化等による効率化の推進～
- 第6回（12月1日号） 『シセツサイヘン』の取り組みの基本方針について②  
～複合化・多機能化の具体的な事例～
- 第7回（1月1日号） 『シセツサイヘン』の取り組みの基本方針について③  
～地域コミュニティ施設の再編～
- 第8回（2月1日号） 『シセツサイヘン』の取り組みの基本方針について④  
～児童館の再編と子育て支援事業の新たな展開～
- 第9回（3月1日号） 第二次実施プランを作ります

連載

「区立施設の再編を考える」

第1回 平成29年7月1日号

## 『シセツサイヘン』ってなあに？



「シセツサイヘン」ってなあに？



まず、ここでいう「シセツ」は区立施設のことなんだ。小学校もそうだし、保育園や児童館、図書館や駅近くの駐輪場、区役所も「区立施設」。全部でおよそ600もあるんだよ。

へえ～、そんなにたくさんあるんだね。

あと10年すると、その3割が建ててから50年以上になってくるので、今後、建て替えたり、直したりしなければならない時期が、次々とやってくるんだ。でも、使えるお金は限られているし、どんな施設が必要なのかは、今と昔とでは変わってくるよね。だから、みんなが必要としている施設をよく考え、工夫しながら新たに作ったり、建て替えたり、直したりしていくことが必要なんだ。この取り組みを「シセツサイヘン」と言うんだよ。



確かに、今ある施設を全部建て替えたりしながら、新しい施設もどんどん作るのは難しいわよね。施設は長く使うものだから、子どもたちとも一緒に考えていかなきゃいけない問題なのね。



施設は利用者あってのものですから、今ある施設をどうするか、これからどんな施設がどのくらい必要になるかは、区の人口が将来どう変わっていくのかを見据えて考えていく必要があります。



そういえば、この間学校の先生から、東京への人口集中が進んでいるって聞いたよ。杉並区の人口も同じように増えていて、56万人を超えたんだって。

よく知っているね。確かに区の人口はここ数年増えています。それは、地方を中心とした区外からの転入者が増えていることが主な要因です。でも日本全体で見ると、出生率の低下によって人口の減少が進んでいて、国はおよそ50年後の2065年には、現在の約7割の8,800万人程度まで人口が減少すると推計しているんだ。日本の総人口が減れば、当然、地方から区への転入者も減るので、長期的に見ると区の人口も減ることは避けられないと考えているよ。



なるほど。とはいっても、区の人口が減るのは少し先の話よね。それなのにどうして今から施設の再編を進める必要があるのかしら？

施設は50年以上使い続けるものなので、将来を見据えて考える必要があります。将来的には人口が減るだけじゃなく、より高齢者の割合が増えるなど、人口の構造も変化します。そうなれば医療や介護にかかるお金が増える一方で、働き手が減って税収が減ることが考えられます。また、あわせて施設に関するニーズも変わっていきます。これらを考えて、今から施設再編を進める必要があるんです。



区職員



現在約600ある区の施設を、同じ数・大きさに建て替えたり直したりしたら、その費用は30年間でどれくらいかかると思う？



う〜ん。一体どれくらいだろう。とにかくすごい金額だよな。

そうだね。26年の試算では、約2,779億円にもなるんだ！1年あたり約93億円。それまでの10年間の平均は約52億円だったから、その倍に近い金額になるね。それに加えて、施設の管理費や人件費などにも毎年300億円以上かかるから、実際にかかる金額は400億円ほどになってしまうんだよ。



1年で400億円！？僕のおこづかいからは、想像もつかないなあ。

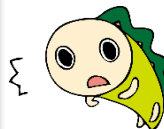
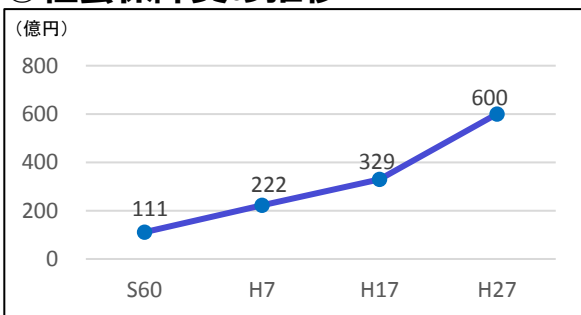
前回聞いたけど、これからはさらに高齢者が増えて医療や介護にも、もっとお金がかかってくるという話でしたよね。



医療や介護などの費用は、27年度までの10年間で約329億円から600億円へと大きく増えています。今後も人口構造が変化して、税収が減少すれば、施設に使えるお金は限られてきます。ですから、これから先、どんな施設が本当に必要になるのか考えるとともに、施設サービスを工夫して効率的に提供していく必要があるのです。



○ 社会保障費の推移





区では、区立施設の現状や課題などを改めて把握するために「施設白書」の作成を進めています。その中で、施設の利用状況や今後の施設のあり方などについて、区民アンケートを実施しました。

集計結果をかいつまんで紹介します。

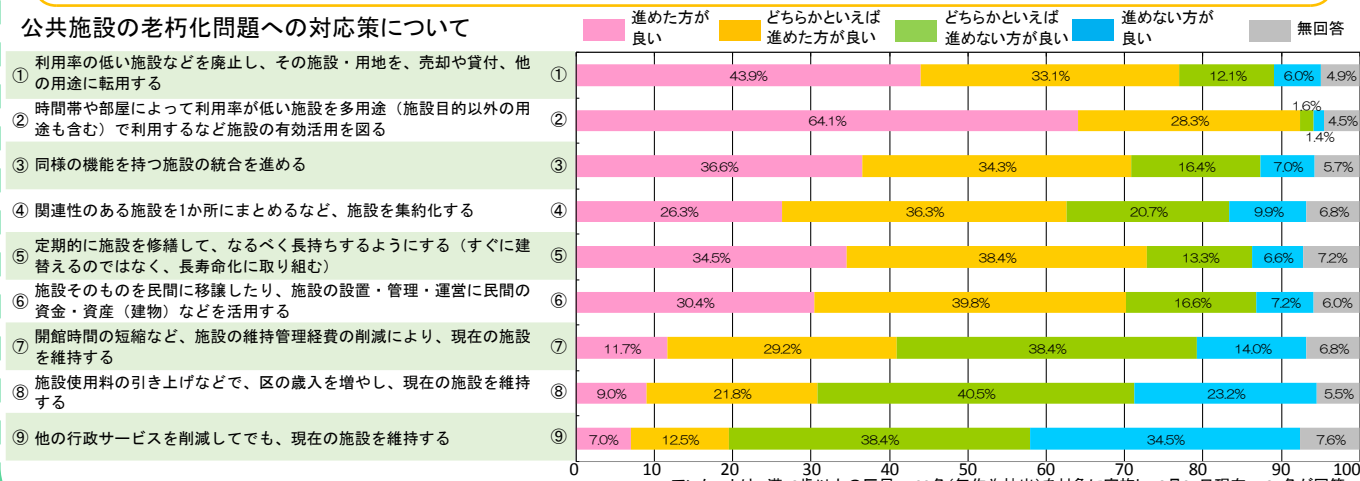
施設の利用状況についてお尋ねしたところ、利用対象者の年齢などを限定しない施設を見ると、図書館や公園など一部の施設では、年に数回以上利用しているという方が5割を超えました。一方で、集会施設や体育施設など多くの施設では、一度も利用したことがないという方を含めて、ここ1年以上利用していないという方が約7割を占めました。その理由として最も多かったのは「利用する機会がない」という回答でした。施設をあまり利用しないという方にもぜひ「シセツサイヘン」の取り組みに関心を持ってもらえればと思います。



区職員

また、全国各地において公共施設の老朽化が進む中で、少子高齢化による社会保障費の増加などにより、施設の建て替えにお金をかけていくことが難しくなっているという課題について、半数以上の方が「知っている」と回答しています。さらに、この問題への対応策として、以下の1~6についていずれも60%以上の肯定的な意見をいただきました。これは、区が進めている、今ある施設を有効に活用して必要な機能・サービスを維持していくことを目的とした「シセツサイヘン」の取り組みとその基本方針に合致する結果でした。

公共施設の老朽化問題への対応策について



これまでのお話で、なぜ「シセツサイヘン」をやらなきゃいけないのかは分かったけど、どんなふうに進めていくのかなあ？



「シセツサイヘン」の進め方にはいろいろな手法があるよ。まず、建物や設備を計画的にメンテナンスして長く使っていくこともそうだし、古くなった施設を建て替えるときに、無駄のない設計にしたり、時代のニーズに合わせて他の目的の施設に変えたりする手法もあるよ。この他にもいくつかの手法があるけれど、特に知ってほしいのが、施設の「複合化・多機能化」という手法だよ。

「複合化・多機能化」？

「複合化・多機能化」は、施設を建て替えるときなどに、いくつかの施設や関係する機能を一つの建物にまとめることなんだ。こうすることで、建物を利用する目的が違って、ロビーなどはみんなと一緒に使えるし、一つのスペースをいろいろな目的で無駄なく使うこともできるんだよ。



区職員

無駄がなくなるのはいいけど、「複合化・多機能化」を進めると、家の近くにあった施設がなくなって、不便になることだってあるんじゃないかしら。



ご心配はわかります。そこで、施設を配置する地域バランスはもちろんのこと、組み合わせる施設の相性も考えながら、サービスの向上につながるよう進めていきたいと思っています。

今回説明した「複合化・多機能化等による効率化の推進」は、区立施設再編整備計画の基本方針の一つです。次回は、現在進めている、複合化・多機能化の具体的な事例について、紹介したいと思います。



今回は、基本方針の1つである「複合化・多機能化等による効率化の推進」について、これから作る図書館と地域コミュニティ施設の複合施設を例に説明するね。



図書館は分かるんだけど、「地域コミュニティ施設」って何？

地域の人たちの会議や趣味の活動で使える集会室・多目的室などのほか、誰でも自由に使えるラウンジもある、そんな施設なんだ。



区職員

図書館とその施設を複合化・多機能化することで、どんなメリットがあるのかしら？

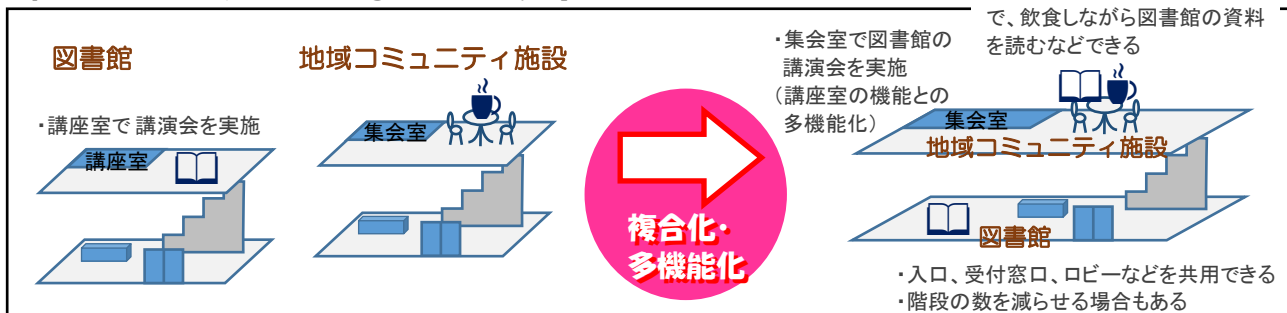


利用者にとっては、図書館で今まで通り静かな環境で調べものもできますし、これに加え、図書館の本を地域コミュニティ施設に持ち込んで、飲食をしながら読書や勉強、打ち合わせができるなど、より自由な使い方ができるようになります。

あら、それは便利になるわね。

また、施設の運用に当たっては、受付窓口やロビーなどを共用することができるほか、図書館で行っている講演会などのイベントを地域コミュニティ施設の集会室で実施できるなど、効率化を図れるというメリットもあるんです。

### ○複合化・多機能化によるメリット



今回は、基本方針の一つ、今ある区民集会所やゆうゆう館などを、新たな施設に変えていく「地域コミュニティ施設の再編」についてお話するね。



どうして、今の施設を変えていかなければいけないの？

前にお話したように、古くなってきた施設を全部そのままの規模で建て替えたりすることは難しいから、限られた施設をみんながうまく使えるように変えていく必要があるんだ。そこで、集会などで利用する区民集会所等と、60歳以上の高齢者を対象としているゆうゆう館、機能を小学校等に移転した後の児童館のうち一部の施設を、新たな地域コミュニティ施設に集約して、子どもから高齢者まで誰もがさまざまな活動に使える施設に変えていくんだよ。



区職員

なるほど。施設を有効に活用するんだね。



新たな地域コミュニティ施設は、誰でも使えるラウンジを設けたり、地域のニーズを取り入れながら、幅広い年齢層を対象にしたみんなで楽しめるプログラムを実施することなどにより、世代を超えて気軽に集まれる身近なコミュニティの拠点にすることができると考えているよ。



そういう施設なら利用する人も増えそうね。私も楽しそうなプログラムがあったらぜひ参加してみたいわ。





前回まで、シセツサイヘンの基本方針を覚えてもらったけど、うちの子がよく行っている児童館はどうなるのかしら？



児童館では、乳幼児親子の利用と小学生の学童クラブの利用が大幅に伸びていて、特に学童クラブの利用者数は18年度から28年度で30%以上も増加しています。だから、施設の一部を学童クラブの部屋に変えていくなどの工夫もしているのですが、一つの施設の中だけではどうしても限界があります。

そこで、小学生の学童クラブと放課後の遊び場などはともに小学校内に移します。また、乳幼児親子の居場所は「子ども・子育てプラザ」や、前回お話しした新たな「地域コミュニティ施設」などに、今の児童館と同じくらいの数を用意します。さらに中・高校生については、「ゆう杉並」のほか、区内に何力所か新たな居場所を確保するなど、それぞれ場所を変えて、伸び伸びと利用できるようにしていこうと考えています。



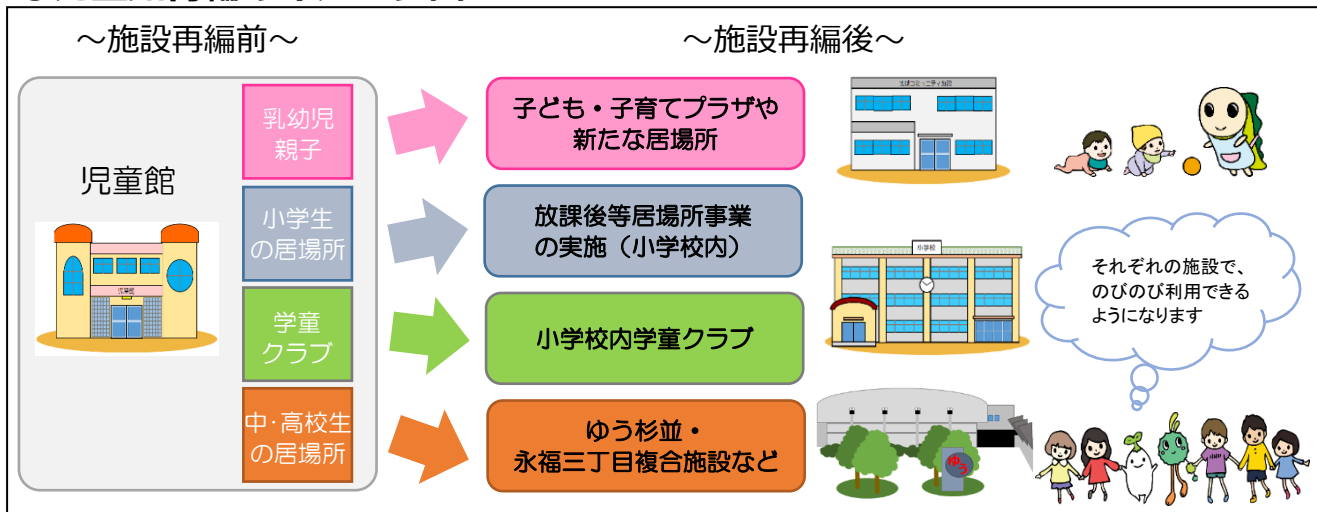
区職員



そうか、これからは学校が終わったら、そのまま学校で友達と遊べるようになるんだね！

そうだね。実際に小学校内での取り組みを始めた施設では、以前と比べて平日の小学生の利用者数が2倍になっているし、乳幼児の利用者数も「子ども・子育てプラザ」では4倍に増えるなど、児童館で実施していたときよりもたくさんの方が利用するようになったんだよ。

### ○児童館再編のイメージ図



### ～区立施設再編整備計画（第一期）の基本的な考え方について～

区立施設再編整備計画（第一期）では、広報紙の連載記事で紹介したものを含め、9つの基本方針を掲げており、これに基づき、再編整備の取り組みを進めています。

①施設設置基準の見直し

～7地域の継承と46地区の基準の転換

②複合化・多機能化による効率化の推進

③学校施設と学校跡地の有効活用

④児童館の再編と子育て支援事業の新たな展開

⑤ゆうゆう館の再編

⑥地域コミュニティ施設の再編

⑦誰もが利用しやすい施設整備の推進

⑧緊急性の高い施設の優先整備

⑨国や東京都、他自治体等との連携

※それぞれの基本方針の内容については、区立施設再編整備計画第(第一期)・第一次実施プランをご覧ください。(区のホームページに掲載)



今年度、「施設白書」を作成し、区立施設の現状や課題を整理しました。その中で、今後の建て替えなどにかかる費用を試算したところ、可能な施設については長寿命化を図り、建て替えの時期を分散するなどしても、過去10年の平均と比べて1年あたり約1.2倍の費用がかかることがわかりました。これは、将来的に社会保障などの費用がさらに増えていく中で、大きな財政負担となります。そのため、施設の複合化や多機能化、民間事業者の資金等を活用した手法の導入なども、さらに進める必要があるんです。



将来的には施設に使えるお金は限られてくるから、施設をなるべく長く使って、建て替えなどにかかるお金を抑えたとしても、やっぱり「シセツサイヘン」が必要なのね。この子やその次の世代にも関係することだから、「今が良ければ」ではなく、長い目で考えなければいけないわね。



区職員

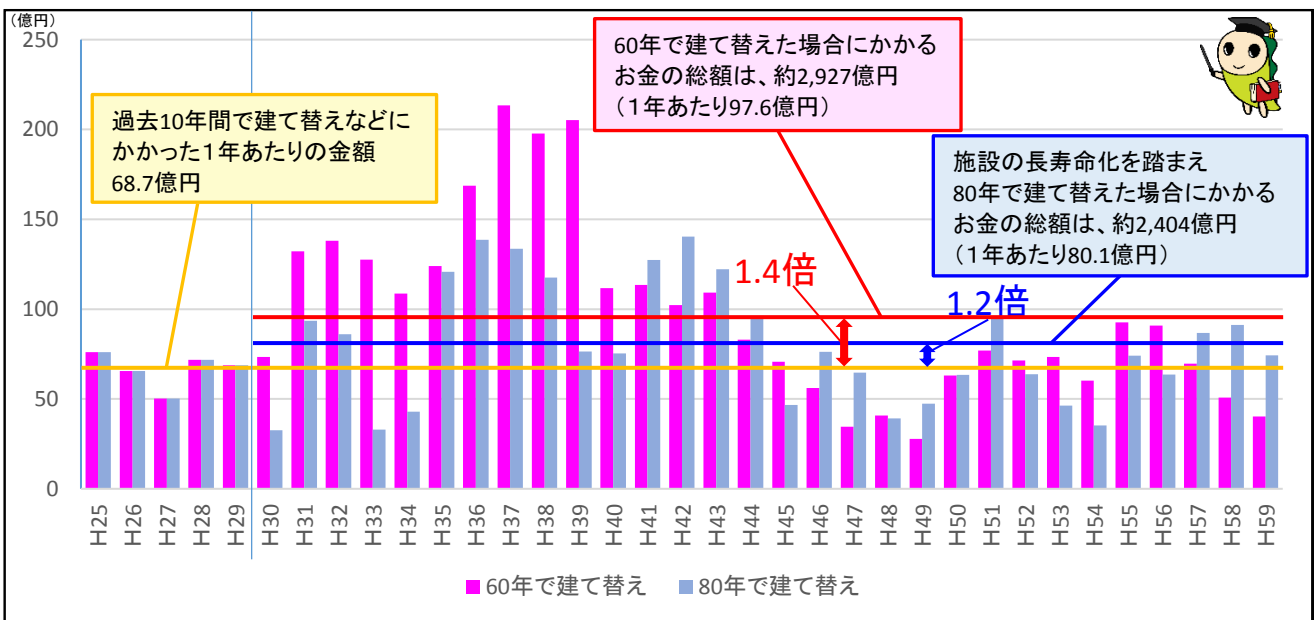
そうですね。そのために、これまでの取り組みや「施設白書」でわかった現状や課題などを踏まえて、来年度、31年度からの3年間の取り組みを決める「区立施設再編整備計画・第二次実施プラン」を作ります。皆さんも、ぜひ考えてみてくださいね。



うん。「シセツサイヘン」って、最初は漢字も分からなかったけど、この連載を通して、僕たちが大人になったときにも関係のある大事なことなんだということがよく分かったよ。

「施設白書」は、区のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

### ○現在と同規模で建て替え等をした場合の今後30年間にかかるコストの試算



※可能な施設の長寿命化を図ることで、建て替えなどにかかる金額を平準化するとともに、30年間でかかる金額を抑えることができます。

### 広報すぎなみ掲載記事「区立施設の再編を考える」

平成30年4月発行

編集・発行

杉並区 政策経営部 企画課 施設再編・整備担当  
〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号  
Tel (03) 3312-2111 (代表)



☆広報紙に掲載した記事や区立施設再編整備計画、施設白書については、杉並区のホームページでご覧になれます。

<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>